2015年11月18日／朝日新聞

市長出身会派「蒼士会」解散

「ぜんしん」を結成　西宮市議会

　西宮市の今村岳司市長が市議時代に所属していた市議会の会派「蒼士会」が16日、解散した。5人の所属議員は17日、新たに「会派・ぜんしん」を結成。幹事長に就いた渋谷祐介市議は取材に「『市長与党』という印象から決別するため」と述べた。

　今村市長は昨年4月の市長選で、自民、民主、公明3党が相乗り推薦した現職を破った。市議会も議員40人(当時)のうち30人が現職を支援する状況の中、渋谷氏ら蒼士会の一部議員が今村市長を応援した。

　渋谷氏によると、今回の対応理由の一つに、今村市長のブログなどでの発言があるという。

　今村市長は選挙時に計31ページのマニフェストを掲げたが、今年2月、「なんで選挙前に書いたような政策をそのままやらないといけないんですか。(中略)『選挙前にはあんなものしか書けなかった私が、今はこんな政策をやれている』そういうふうに考えていただきたい」と書き込んだ。

　渋谷氏は「マニフェストを信じたからこそ応援したし、投票した市民も多いはず。(今村市長への）不信が積もり、信頼関係が成立しないと判断した」と話した。

　市議会は今年3月、報道機関の取材をビデオ撮影する今村市長の方針をめぐり、中止を求める決議案を可決。蒼士会はこの決議案に賛成したほか、今村市長が初編成した一般会計当初予算案についても、原案の一部修正案に賛成していた。（筒井竜平）

2015年11月18日／神戸新聞

西宮市会

市長が所属した「蒼士会」解散、新会派届け出

　西宮市の今村岳司市長の出身会派だった「蒼士会」が、17日までに市議会議長充てに解散届を提出し、新たに新会派「会派・ぜんしん」を結成した。所属議員は5人のままで変わらないが、「市長与党」のイメージ払しょくを狙ったものとみられる。

　蒼士会は2012年4月に「にしのみや未来」から名称変更された会派で、今村市長が市議時代に所属。昨年4月の市長選では大半の市議が当時の現職を押す中、同会派の3人が新人の今村市長の応援に回っていた。

　幹事長に就任した渋谷祐介市議は「市長に対して、政策面や信頼関係上、疑義を持たざるを得ない問題が生じた。健全な地方自治のために、是々非々で対応していきたい」と話した。（前川茂之)